

130 新たな歴史を創造

久留米市イメージキャラクター **くるっば**

5月1日、新元号「令和」がスタート。明治の市制施行から130年。五つの元号をまたいだ久留米市の歴史を、年表や写真で振り返ります。

明治

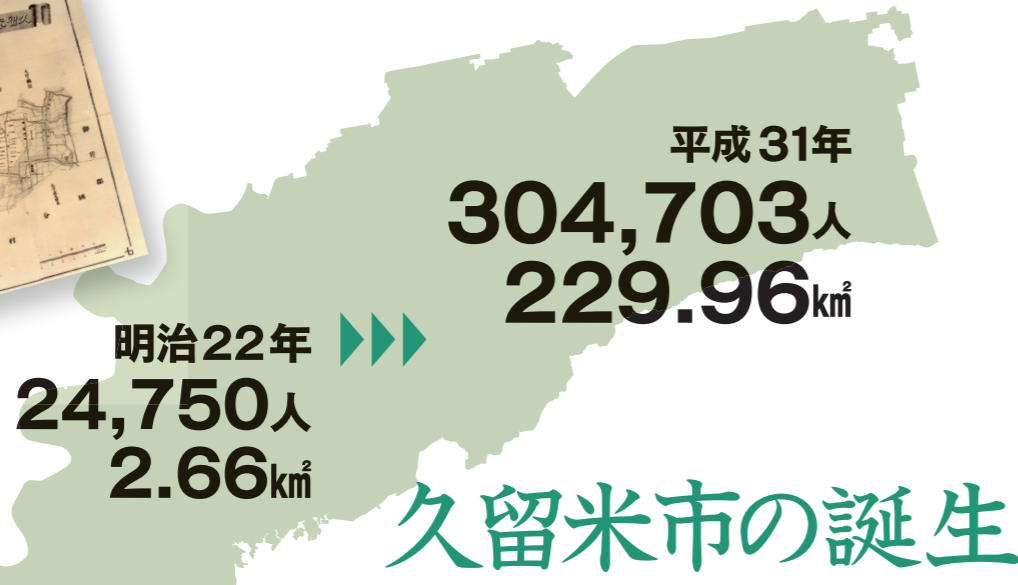
大正

昭和

- 22 久留米市誕生
- 筑後川流域で大洪水
- 九州鉄道の博多〜久留米間が開通する
- 25 初代石橋徳次郎が「志まや」(現アサヒシユース)を創業
- 29 久留米簡易商業学校(現久留米商業高校)開校
- 37 青木繁が「海の幸」を描く
- 40 電灯、電話が開通
- 3 豆津橋が架かる
- 市営ガスの供給を開始
- 6 鳥飼村が合併
- 11 私立南筑中学校(現市立南筑高校)開校
- 12 節原村が合併
- 13 国分町が合併
- 九州鉄道の福岡〜久留米間に急行電車が開通
- 3 九州医学専門学校(現久留米大学)が開校
- 久留米の久留米〜吉井間が開通
- 5 旧市庁舎が完成
- 上水道の給水を開始
- 6 石橋正二郎が「ブリッチェストーンタイヤ」(現ブリヂストン)を創業
- 7 坂本繁二郎が八女市に移住し、「放牧三馬」を描く
- 9 久大線が全線開通
- 久留米大橋が架かる



明治25(1892)年の久留米市地図



市制施行当時と今の久留米市役所
久留米藩の迎賓館だった御使者屋跡を市庁舎として利用しました。場所は現在の両替町公園。長い白壁の塀の下に見える石垣の一部は、今も公園内に残っています



郷土への思い新たに

久留米市は、明治22(1889)年4月1日、全国の30市と共に日本で最初の市として誕生。今年、市制施行130周年を迎えました。

4月3日、久留米シティプラザで開催した記念式典には、市民の皆さんなど約1000人が参加。大久保勉市長は「130周年を契機に、これまで諸先輩方が培ってきた歴史・文化・地域の魅力を再発見し、新たな未来を創造したい」とあいさつし、まちづくりへの思いを新たにしました。

歩み出した久留米市

久留米市がスタートした時の人口は約2万4750人、面積は3km²にも満たない広さでした。九州内では、久留米市、福岡市、佐賀市、長崎市、熊本市、鹿児島市が誕生。そのうち本市は、県庁所在地ではない所に施行された唯一の市でした。

同年4月には、初めての市会議員選挙を行い、選出された30人の議員の中から、初代市長に内藤新吾が選ばれました。7月5日、久留米市は大洪水に見舞われます。筑後川が氾濫し、1262戸の家屋が流されまし

た。出発したばかりの久留米市は、洪水の対応に追われました。

市の面積は86倍に

合併を繰り返して大きくなってきた久留米市。大正から昭和期には、隣接する鳥飼村、節原村、国分村、御井町と合併。面積が約14倍と大幅に拡大します。130年間に行った合併は計11回。平成17年2月の田主丸町、北野町、城島町、三瀬町との過去最大の広域合併で人口は30万人に到達し、20年には中核市となりました。現在、人口は当初の約12倍、面積は約86倍になりました。

持続可能なまちへ

久留米市には、豊かな自然や高度な医療、文化芸術など優れた資源があり、農業、商工業、観光などの分野で今後も成長の大きな可能性があります。大手シンクタンクの調査でも、潜在力のあるまちとして、高く評価されました。

近年、少子化による人口減少と、超高齢社会に伴うさまざまな課題が全国で問題になっていきます。本市も将来にわたって持続可能なまちづくりを進め、県南の中核都市として成長を続けていきます。



昭和初期の市内の様子
市役所から東を望む。左奥には高良山が見えます



久留米市の市章
九つの片仮名の「ル」が、漢字の「米」を取り囲むように配置されています。明治44(1911)年9月13日に制定されました



(右) 式典には、姉妹都市の福島県郡山市の副市長の他、くるめふるさと大使の藤吉久美子さんも出席
(左) 式典では橋原利則前久留米市長など市の発展に貢献した82人に、感謝状を贈りました



10のメイン事業を開催

130周年を記念したイベントや、本市の個性や特徴をアピールできる既存のイベントをメイン事業として開催します。また、130周年を市の内外に周知するため、例年行っている事業に「市制施行130周年記念」の冠を付けて開催します。

<これから開催するメイン事業>

図書館企画展示「久留米市誕生 明治22年4月1日ヨリ久留米市ヲ施行ス」
7月6日(土)～9月23日(祝)

第48回水の祭典久留米まつり
8月3日(土)、4日(日)

第360回筑後川花火大会
8月5日(月)

高松宮賜杯
第63回全日本軟式野球大会
9月27日(金)～9月30日(月)

第45回ふるさとくろめ農業まつり
11月中旬

「第九」100周年記念事業
12月28日(土)

城島酒蔵びらき
来年2月中旬

市制施行130周年記念植樹
時期未定

<終了したメイン事業>
NHK BSプレミアム「新・BS日本のうた」公開収録
4月11日

松竹大歌舞伎
4月23日
☎総務課 (☎0942・30・9052、
FAX 0942・30・9706)

市民会館の舞台と共に
アマチュア劇団主宰 中村勉也さん(上津町)

昭和51(1976)年に市民会館小ホールでアマチュア劇団の初舞台を踏み、その後は演出も手掛けています。根っからの芝居好きで、市の公募企画「市民の舞台・河童武者伝」では、大ホールで主役を演じました。演技だけで全国に通用する、そんな演劇を久留米から発信したいです。



石橋文化センターが開園。50m プールや体育館などの施設も (昭和31年)



三本松公園にあった久留米市動物園。クジャクで有名 (撮影時期不明)



当時一番の娯楽だった映画。市内に五つの映画館がありました (昭和11年)

平成

- 42 筑邦町、善導寺町が合併
校区公民館制度がスタート
- 44 久留米市民会館が開館
- 45 鳥類センターが移転
- 47 下水道供用開始
- 48 九州縦貫高速道路鳥栖～南関間が開通
- 49 長門石橋が架かる
インターハイを開催
- 50 福島県郡山市と姉妹都市を結ぶ
- 51 市民流水プールがオープン
総合福祉センターが開館
- 55 中国合肥市と友好都市を結ぶ
- 59 テクノポリス地域指定
- 1 市制施行100周年。久留米百年公園が完成
- 2 青少年科学館が開館
とびうめ国体を開催
- 4 米国モデスト市と姉妹都市を結ぶ

昭和

- 9 久留米図書館が開館
- 13 市常備消防本部を設置
- 14 国立久留米高等工業学校(現久留米工業高等専門学校)が開校
- 18 御井町が合併
- 20 久留米大空襲で市街地が焦土に
- 23 市警察署、市消防署が発足
- 24 競輪場が完成
- 26 山川村、合川村、上津荒木村、高良内村が合併
- 28 市政ぐるめ創刊
昭和28年西日本水害で甚大な被害を受ける
- 29 浮羽郡田主丸町、船越・水分・水縄・竹野・筑陽村が合併し、旧田主丸町ができる
- 三本松公園に久留米市動物園(現鳥類センター)が開園
- 30 城島村、江上村、青木村が合併し、旧城島町ができる
- 北野町、弓削村、大城村、金島村が合併し、旧北野町ができる
- 三瀨村、犬塚村が合併し、旧三瀨町ができる
- 31 石橋正二郎の寄贈により石橋文化センターが開園
- 32 田主丸町で巨峰ぶどうの開植が始まる
- くろめかまちが国の重要無形文化財に
- 33 宮ノ陣村、山本村が合併
- 35 草野町が合併
- 38 石橋正二郎の寄贈により石橋文化ホールが開館

令和

- 25 市イメージキャラクター「くろっば」が誕生
- 九州初・セーフコミュニティ国際認証を取得
- 26 世界のつばき館がオープン
- 28 久留米シティプラザが開館
- 宮ノ陣クリーンセンターが稼働
- 久留米市美術館、石橋正二郎記念館がオープン
- 29 東京2020オリンピック・パラリンピックの、ケニア事前キャンプ地に決定
- 30 カザフスタンの事前キャンプ地に決定
- 久留米アリーナが開館
- 平成30年7月豪雨。市内の広範囲に浸水被害
- 31 市制施行130周年。記念式典を開催
- 1 令和元年スタート

平成

- 4 市民栄誉賞を創設
- 5 上津クリーンセンターが稼働
- 6 鬼夜が国の重要無形民族文化財に指定される
- 南部浄化センターが完成
- 7 市役所新庁舎が完成
- 8 石橋幹一郎の寄贈により美術館別館が開館
- 9 オフィス・アルカディアを起工
- 10 こみの17種分別が始まる
- ふれあい農業公園が開園
- 11 東京事務所開設
- 12 二千年橋が架かる
- 13 特例市となる
- えーるピア久留米が完成
- 14 河川防災ステーションが完成
- 15 六角堂広場がオープン
- 16 福岡バイオ・インキュベーターセンターが開園
- とびうめ国文祭を開催
- 17 久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三瀨町が合併し、新久留米市が誕生
- 杉谷埋立地第一処分場が完成
- 18 食育都市宣言
- 20 九州の県庁所在地以外で初の中核市に移行。市の保健所を設置
- 久留米つばき園が開園
- 道の駅くるめがオープン
- 23 九州新幹線全線開業。九州新幹線久留米駅が開業



久留米シティプラザが文化・交流の拠点としてオープン (平成28年)



九州新幹線全線開業。早朝の一番列車を多くの人が出迎えました (平成23年)



とびうめ国体カヌー競技で準決勝へ
三瀨高校教諭 富松和彦さん(筑後市)

出場したのは大学1年の時。家族や出身の三瀨高校からも応援に来てくれて、負けられないという気持ちになりました。現在は三瀨高校カヌー部の顧問と、国体福岡県チームの監督をしています。地元からオリンピック選手を出すことを目指して頑張ります。



市制100周年を記念して、久留米百年公園がつけられました (平成元年)